

## 特集にあたって

中川慶一郎 (㈱NTTデータ), 生田目 崇 (専修大学)

本特集は、平成18年度「データ解析コンペティション」の成果を対象とした投稿論文である。

本コンペティションも今回で13回を数え、全国から数多くの参加者を得ている。運営する側としては大変苦勞も多いが、それ以上の成果も上がり、なにより多くの研究発表は勉強になっている。本コンペティションは、マーケティングやその分析技術にかかわる研究部会、研究グループが集まって結成した「経営科学系研究部会連合協議会」により開催されている。本協議会のメンバーは、日本OR学会マーケティング・インテリジェンス研究部会、日本マーケティング・サイエンス学会ID付POSデータ活用研究部会、早稲田大学マーケティング・コミュニケーション研究所CRM研究会、日本経営工学会マネジメントサイエンスのニューフロンティア研究部会、日本データベース学会ビジネスインテリジェンス研究グループ、㈱産業科学研究開発センター、㈱NTTデータ技術開発本部、の合計7団体である。

平成18年度はウェブサイトのアクセス・ログ・データをコンペティション参加チームに提供した。

参加チームは45チーム、200名の参加を得て、平成18年10月から19年3月まで各研究部会でそれぞれのチームの研究発表をさせていただき、選抜された11チームの分析結果が、平成19年3月26日に研究成果報告会にて発表された。

本特集に当たっては、コンペティション終了後に研究成果をまとめた論文の募集を行った。論文の投稿は、研究成果報告会に選抜されたチームに限らず、参加チーム全体から募った。論文の採択については、査読委員会(委員長:早稲田大学 守口剛教授)を設け、投稿された論文はすべて2名の査読者による査読を経ている。過去の査読のレベルの高さも手伝ってか、本年度は投稿が少なかった。結果、6編の論文投稿に対し、最終的に3本の論文が採択された。今回掲載された論文以外で本特集には採択まで到らなかった論文につい

ては、編集委員会で継続査読をお願いしている。

本特集の論文で利用されている提供データは以下のとおりである。

データ: ㈱環のウェブログ解析ツール「シビラ」サイトのアクセス・ログ・データ

期間: 2006年1月~2006年6月

ページビュー数: 約5万ページビュー

データ項目: アクセス日時, ポート, ホスト名, ユーザーエージェント, リクエストURL, リファラURL, ユーザーID, セッションID, UNIX時間, ユニークID, ディスプレイサイズ, 訪問回数, URL(パラメータ付), 広告情報, 検索エンジン, リスティング, キーワード

この他に、各URLのhtmlファイルが提供された。リクエストURLとリファラURLはそれぞれ、表示対象および直前のURLである。また、訪問回数はHTML cookieの情報が記録された場合のみ識別され、加算される。広告情報以下の4つの項目は、サイト訪問時に検索エンジンを利用した場合のものであり、広告や検索キーワードなどが記録される。

本特集に関しては以下の方々にて特に世話になった。まず、㈱環からは、本コンペティションに対して、貴重なデータをご提供いただいた。さらに、メーリングリストを用意いただき、参加者からの多くの質問に関して丁寧にご回答いただいた。

また、大規模データ解析に欠かせない分析ツールに関して、㈱数理システム、㈱SPSS、SAS Institute Japan ㈱の各社にツールの貸与のご協力をいただいた。

論文の審査においては、査読に協力いただいた皆様には、短期間で適切な査読をいただいた。また、日本オペレーションズ・リサーチ学会には本特集を毎年企画いただくだけでなく、本コンペティションの活動を認めていただき、学会の事例研究賞選考の対象として認めていただいている。主催者一同から深く感謝申し上げます。